

## 高気圧酸素治療室



### 高気圧酸素治療とは

大気圧よりも高い気圧環境の中に患者を収容し、この患者に高濃度の酸素を吸入させることによって、病態の改善を図ろうとする治療です。

### 主な効果としては

- ① 体内（血液中）の酸素量を増加させ、生体内の低酸素症の改善効果
- ② 酸素の抗菌作用を利用し、細菌の発育を阻害する抗菌効果
- ③ 生体内にできてしまった気体を圧縮し、再溶解することにより末梢循環の改善をし、組織の浮腫を軽減させる生体内気体の圧縮・溶解効果があります。

### 対象となる疾患

治療の適応疾患は、**救急的適応疾患**と**非救急的適応疾患**の2種類に区別されます。

**救急的適応疾患**（通常の酸素投与によっては症状を改善できないが、大気圧を超える高気圧酸素吸入によって症状の改善を期待でき、かつ、**発症後7日以内**の次の各号の疾患及び病態とする。）

- 1) 急性一酸化炭素中毒及び間欠型一酸化炭素中毒並びにこれに準ずる中毒症
- 2) 重症感染症（ガス壊疽、壊死性筋膜炎、壊疽性筋膜炎等）
- 3) 急性脳浮腫（重症頭部外傷、開頭術後若しくは急性脳血管障害を原因とし、他覚的に

脳浮腫を認めたもの)

- 4) 急性脊髄障害 (重症脊椎外傷、脊椎又は脊髄術後若しくは急性脊髄血管障害を原因とし、他覚的に急性脊髄性麻痺を認めたもの)
- 5) 急性動脈・静脈血行障害
- 6) 急性心筋梗塞
- 7) 重症外傷性挫滅創、コンパートメント症候群、重症外傷性循環障害
- 8) 空気塞栓症
- 9) 腸閉塞 (急性麻痺性及び癒着性腸閉塞)
- 10) 重症熱傷及び重症凍傷 (Burn Index 15 以上の熱傷並びにこれに準ずる凍傷)
- 11) 網膜動脈閉塞症 (網膜中心動脈及びその分枝閉塞を確認したもの)
- 12) 重症の低酸素性脳機能障害
- 13) 突発性難聴
- 14) 顔面神経麻痺
- 15) 減圧症

非救急的適応疾患 (通常の酸素投与によっては症状を改善できないが、大気圧を超える高気圧酸素吸入によって症状の改善を期待できる次の各号の疾患及び病態並びに救急的適応疾患のうち発症後7日を超えて治療を必要とするものとする。)

- 1) 遷延性一酸化炭素中毒
- 2) 難知性潰瘍並びに浮腫を伴う末梢循環障害
- 3) 皮膚移植後の虚血皮弁
- 4) 慢性難治性骨髓炎
- 5) 放射線性潰瘍
- 6) 重症頭部外傷又は開頭術若しくは脊椎・脊椎手術後あるいは脳血管障害後の運動麻痺及び知覚麻痺
- 7) 難知性脊髄・神経疾患
- 8) 放射線治療又は抗癌剤治療と併用される悪性腫瘍
- 9) 熱傷及び凍傷

(高気圧酸素治療安全協会ニュース第三十九号 高気圧酸素治療の安全基準より)

☆適応疾患については担当医師にご相談下さい。